

条幅部自由参考

9月25日正午必着

明石春浦先生書



朝露あきつゆによれて涼すずし瓜うりの土つち (松尾芭蕉)

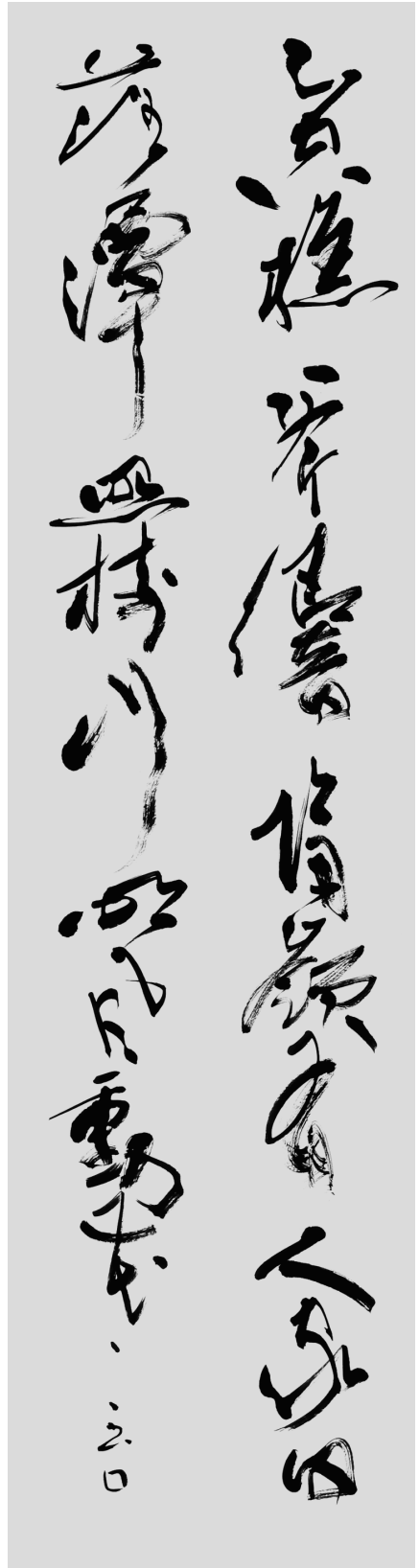
明石幸子書



寒潮落遠汀  
 暝色入柴扃  
 漏永沉沉靜  
 燈孤的的青  
 啼螢莫近庭

林風移宿鳥  
 池雨定流螢  
 盡夕成愁絶

（呉融）



山空樵斧響。隔嶺有人家。  
日落潭照樹。川明風動花。  
（宋・陳與義）

山からおりて来たころは既に日の暮れ方であった。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

江山清趣（周鼎）

江山清趣

秋の江山は美しく清らかである。

高秋夜分後 遠客雁來時  
寂寂重門掩 無三人問所思

（耿 滄）

高秋夜分の後 遠客雁來たるの時  
寂寂として重門掩い 人の所思を問うこと無し

秋夜の感懐をのべたものである。夜分はよなか。雁來は秋末。遠客は雁を指す。

送從弟歸河朔（李嘉祐）

從弟の河朔に帰るを送る  
李嘉祐

故鄉何可到 令弟獨能歸

故郷 何ぞ到る可き 令弟 独り能く帰る

諸將旌旆節 何人重布衣

諸將 旌節を旌す 何人か 布衣を重んぜん

空城流水在 荒澤舊村稀

空城 流水在り 荒沢 旧村稀なり

秋日平原路 蟲鳴桑葉飛

秋日 平原の路 虫鳴きて 桑葉飛ぶ

四季移るあはれもなくて 棲む街や 身に沁む風に 秋を驚く  
（筏井 嘉一）

半紙部規定課題A

9月25日正午必着

路徒  
難悲  
行

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

9月25日正午必着

行書

徒悲行  
路難

隸書

徒悲行  
路難

明石春浦先生書

草書

徒悲行  
路難

行草書

徒悲行  
路難

林中の住居には格別の楽しみもなく、花壇の垣根のほとりに茶を淹れるほどのこと  
雀は北の窓辺に餌を啄んで日は暮れゆき、僧が西の閣をうち開けばひえびえとしている  
橋につきあたりつつ、二つの川はすみやかに流れ、月光の下に撞く鐘の音はわびしくもうすれゆく  
夜明けにはまたお別れせねばならぬ、前途の険しさをいたずらに悲しむばかり

龍翔喜「胡權訪宿」 喩鳥

林棲無異歡

煮茗就花欄

雀啄北窓晚

僧開西閣寒

衝橋二水急

扣月一鐘殘

明發還分手

徒悲行路難

竜翔にして胡權が訪ねて宿するを喜ぶ 喩鳥

林棲 異歡無し

茗を煮て 花欄に就く

雀は北窓の晩に啄み

僧は西閣の寒きを開く

橋を衝いて 二水急に

月を扣いて 一鐘残す

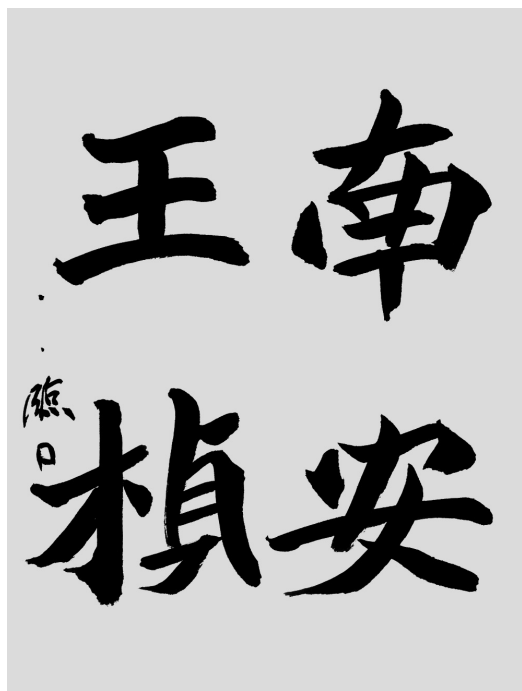
明發 還た手を分つ

徒らに悲しむ 行路の難きを

(出典) 朝日新聞社刊 「三体詩」下より

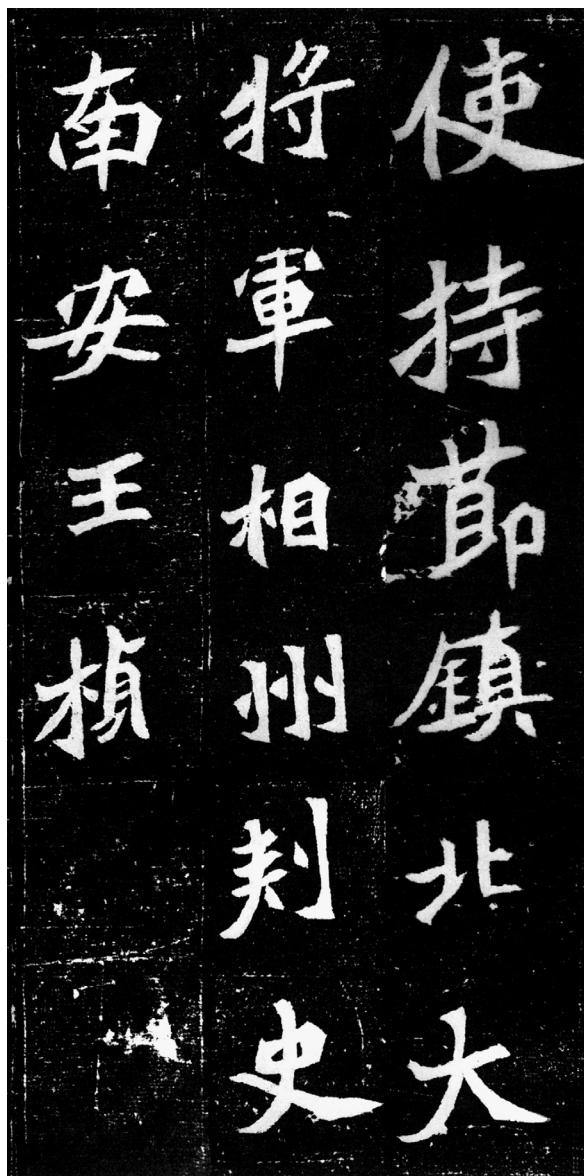
※「鐘」は「鍾」に同じ。

9月25日正午必着



南安王楨

兩宮春聲先生臨書



北魏・元楨墓誌

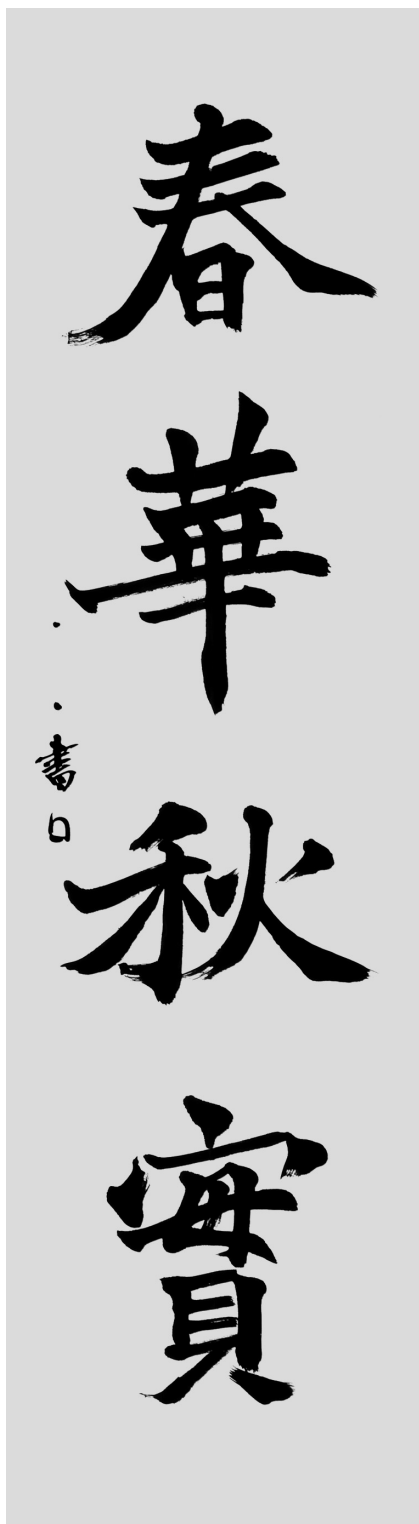
墓誌は故人の姓名、経歴、行年、業績などを、後世に伝えるために石や銅板・磚などに記して墓に埋めたもので、中国では後漢時代から始まり、元の時代まで続いたとされる。故人と共にすぐに土中に埋められるため、損傷がほとんど無く、点画の鮮明なものが多い。

この墓誌は、北魏の太和二〇年（四九六）の刻で楷書一七行・行一八字。北魏紀年の墓誌中では最も古いもので、早期のものは概して清秀であるが、この墓誌はまた点画の組合せもかなり理智的で、刻もよく筆意を活かしているとされる。元楨は恭宗の第一一子、平城から洛陽への遷都実施に貢献した功績により南安王に封ぜられた。一九二六年、洛陽出土、西安碑林に現存する。

※博：まるくて平らなかわら。

（春濤）

使持節鎮北大將軍相州刺史南安王楨、  
使持節・鎮北大將軍・相州刺史・南安王・楨。  
使持節・鎮北大將軍・相州刺史・南安王・楨は、…。



春華秋實（魏志）

春の花と秋の実。文質のすぐれているたとえ。

△做書参考▽

※この積文での臨書部門の出品は出来ません。



使持節鎮北大將軍相州刺史南安王

9月25日正午必着

教育部毛筆



えん 園

げい 芸

中学一年

雨宮春聲先生書



せい 誠

じつ 実

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



け  
今

さ  
朝

小学五年

榎戸春龍先生書



す  
巢

ぼこ  
箱

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



9月25日正午必着



すい

ぎゅう

小学三年

藤田幸春先生書



しゃ

せい

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

の り 小学一年・幼年



森戸春濤書

はし る 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



つ	か
き	ぐ
へ	や
	ひ
か	め
え	は
る	

幼年

う	月
さ	の
ぎ	せ
か	か
お	い
ど	で
る	

小学一年

が	さ
	わ
つ	や
づ	か
き	な
ま	天
す	気

小学二年

月	十
が	五
	夜
み	の
え	ま
ま	る
す	い

小学三年

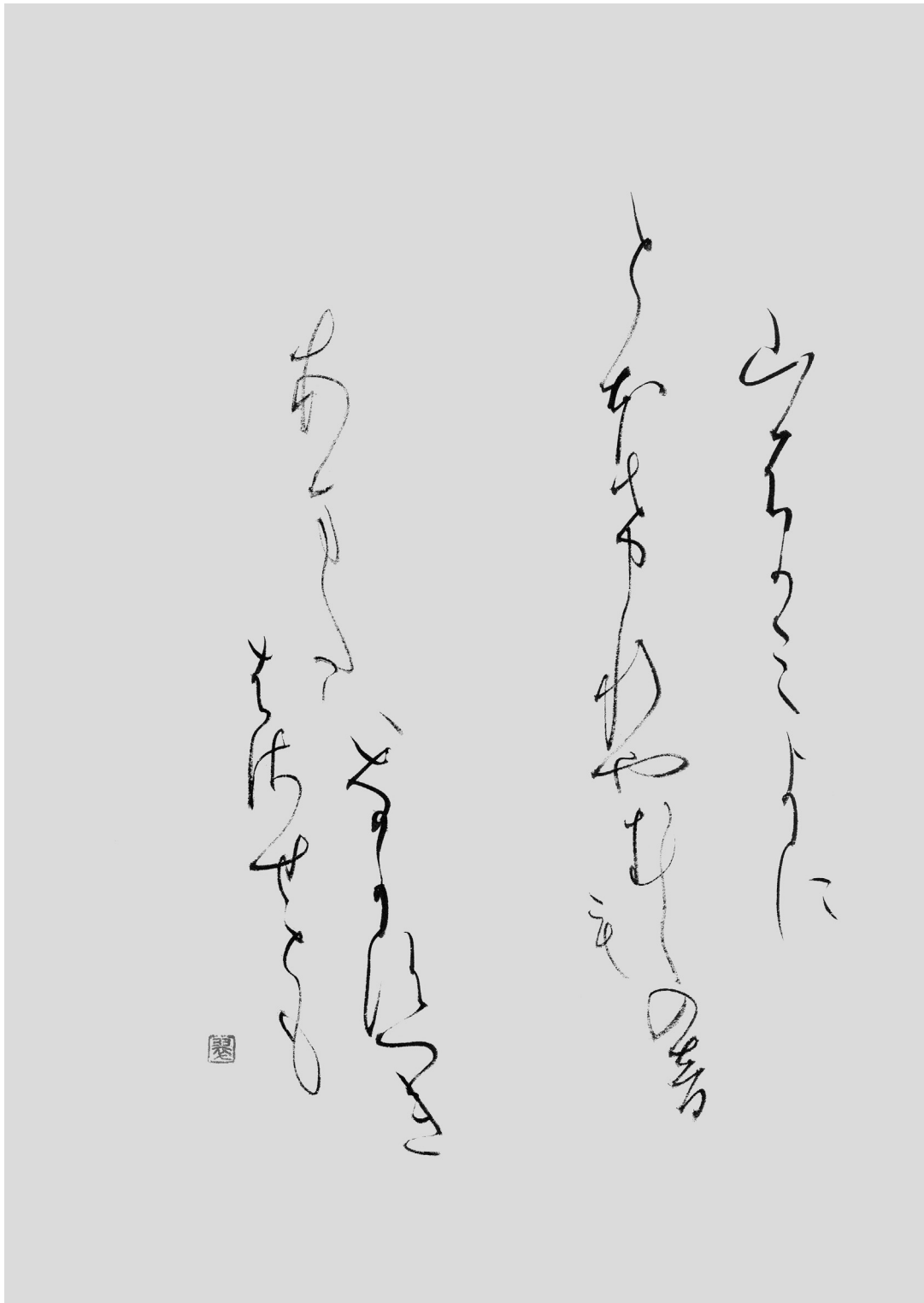
雲	空
に	い
秋	ち
を	め
感	ん
じ	の
ま	い
す	わ
	し

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

山ふかみ  
不可三  
よにとほけれや  
本希  
むしの音も  
毛  
あまたはなかす  
万多八奈可須  
つきはさせとも  
者佐  
(伊藤左千夫)



松永翠舟先生書